



News letter

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究
 領域略称「人工光合成」領域番号 2406
 人工光合成による太陽光エネルギーの物質変換：
 実用化に向けての異分野融合

人工光合成に関する 討論会報告

第25回配位化合物の光化学討論会報告

A03 班研究分担者 酒井 健

唐津ロイヤルホテルにて、本討論会を無事実施することができた。大盛況のうちに会を終えることができたのも多数の皆様方のご支援の賜である。厚く御礼申し上げます。特別講演には、大阪大学福住俊一教授ならびに九州大学安達千波矢教授をお招きし、御講演頂いた。福住教授は近年重点課題とされる人工光合成の分野で極めて勢力的に研究を展開されており、あらゆる光合成関連の研究を網羅的に展開してこられた研究成果についてご紹介頂いた。変わらぬ御熱弁ぶりに場内は大いにヒートアップした。一方、安達教授は、OLED 研究開発の大家であり、最近、重金属の手助けなく強発光、高発光効率を達成することに成功し、その成果を Nature 誌に発表されたばかりである。今回の御講演ではその成果を中心とする安達教授の研究変遷に触れることができ、また、これまで私もあまり深く理解していなかった遅延発光の原理や実験法についても知ることができ大変良い勉強になった。また、安達教授が学生時代に行った暗い OLED に関する初期の御研究内容や、同分野の歴史的背景についても知ることができ、若い参加者にとっても良い刺激になったと確信した。両先生ともに、大変御多忙の中を御参加頂いた。福住教授は、初日に韓国から福岡を経由して直行でおいで頂き、討論会終了日には、その足で北海道、夏の学校(錯体化学若手の会)へと旅立たれた。安達先生においては、ご発表当日に駆けつけていただき、その後、懇親会にも御参加いただき、翌朝ホテル4時発で東京出張に向けて発たれた。本紙面をお借りし、お二人には改めて厚く御礼を申し上げたい。

<<プログラム>>

第25回配位化合物の光化学討論会

会長：石田 斉 (北里大学理)

世話人：酒井 健 (九大院理)

討論会日程：2013年8月5日(月)～7日(水)

討論会開催場所：唐津ロイヤルホテル

(特別講演) 福住俊一 (阪大院工、ALCA, JST) 「人工光合成における配位化合物の役割」

(特別講演) 安達千波矢 (九州大学) 「革新的な有機発光材料の登場と光エレクトロニクスへの応用」

今回は、30件の口頭発表並びに40件のポスター発表の応募を受け付け、特段の操作なしに、そのままそれら全てを要望通りに受け付け、プログラム編成を行った。研究発表なしの参加登録者も含め、総勢100名の参加登録を受け付けた。予算面でも特段問題を生じることなく終えることができたのは、ひとえに装置メーカー、試薬メーカーなどの企業からの多大なるご

支援の賜である。本討論会では、毎年ポスター発表者全員がポスタープレビューの講演(2分間)を行うのが目玉となっているが、今年も様々な分野の研究者による講演がなされ、短時間で色々な研究内容に触れることができる点で極めて効果的であることを改めて認識した。優秀ポスター賞については、今回は北大勢が人気を博す結果となった。受賞者は、井森大介君(東大院理工)、立野 葉さん(北大院総化)、中川淳史君(北大院総化)、平井悠一君(北大院工)、横井孝紀君(東大院工)の5名であり、中川淳史君が最優秀賞の栄冠を手にした。最優秀賞の記念品には、世話人を始め多くの本討論関係者が寄与して完成したハウスクロフト無機化学上下巻を、残り四名には、特別講演の先生方が編集した「人工光合成と有機系太陽電池」(福住俊一ほか著、化学同人)および「有機半導体のデバイス物性」(安達千波矢編、講談社)をそれぞれ二刷ずつ用意し、石田会長から贈呈して頂いた。このような会を通じて、若手研究者が刺激を受け、益々成長し活躍することに期待したい。



お知らせ

第3回フォーラム「人工光合成」・第2回公開シンポジウム開催のお知らせ

日時：2013年10月25日(金) 13:00～

会場：立命館朱雀キャンパス大講義室

基調講演

北澤宏一(東京都市大学長)・佐和隆光(滋賀大学長)

パネル討論

<パネリスト> 佐和隆光・橋本和仁(東大教授/産業競争力会議議員・総合科学技術会議議員)ほか

<司会> 井上 晴夫(首都大東京教授)

尚 2013年10月26日(土)～27日(日)には第2回公開シンポジウムが開催されます。

招待講演：福住俊一・藤田恵津子

問合せ：領域事務局 民秋 均(立命館大学)

jimukyoku@artificial-photosynthesis.net

新学術領域「人工光合成」ニュースレター

第1巻・第7号(通算第7号)平成25年10月4日発行

発行責任者：井上晴夫(首都大学東京 都市環境科学研究科)

編集責任者：八木政行(新潟大学 自然科学系)

<http://artificial-photosynthesis.net/>